



みんなおいでよ。
ひとりじゃない。
支え合うまち、
陣山校区。

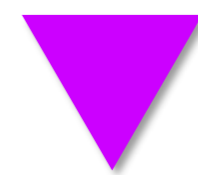
JINNYAMA 2022



概要版
陣山校区 第一次
ふくしのまちづくり計画



みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり



2026



陣山校区社会福祉協議会
〒805-0068 北九州市八幡東区桃園 3-1-1
陣山市民センター内

TEL 093-661-1657 FAX 093-661-1657



基本理念

みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり

住み慣れたまち陣山で「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」という想いをカタチにするため、住民や地域の関係者が協力し合いながら、継続的に取り組んでいくためのふくしのまちづくり計画をつくりました。

陣山校区では、ふくしのことを「広げ」、「集い」、そして「支え合う」ことを中心に2022年から2026年までの5カ年に行う3つの基本目標と9つの取組みを定めました。

◆ 3つの基本目標と9つの取組み

基本目標

あなたの声を出そう！
聞こう！
輪を広げよう！！

住民一人ひとりに「福祉や社協への関心」を持ってもらうため、誰にでも分かりやすく伝わる広報活動に加え、地域福祉活動の担い手の確保のため、福祉を学ぶ場の提供や人材確保に取り組めます。

笑顔で集う
いこいの場に！

子どもから高齢者、子育て世代、障害のある方など誰もが気軽に集まり話せる場としてのサロンや行事を開催します。
また、困りごとを受け止める場としての体制づくりを行います。

笑顔で見守る私たち！

住民の抱える様々な福祉の困りごとに対して、住民同士で支え合う「ふれあいネットワーク活動」に取り組む、ふだんの暮らしからいざという時、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

取組み

- 陣山社協だよりの発行
- 福祉協力員等研修交流会
- 町会未加入世帯への広報啓発



- 地区別年長者ふれあいサロン
- ふれあい餅つき大会
- 子育て支援・母親交流事業「ママとも広場」
- あじさいカフェテラスコンサート



- ふれあいネットワーク活動
 - ・見守り活動
 - ・話し合い活動
 - ・助け合い活動
- 災害時の連絡体制づくり



◆ 重点実施項目

※目標を達成するために特に力を入れて取り組む内容です

地域福祉の活動者・応援者を増やします

抱える問題点

陣山校区の高齢化率は37%です。地域の福祉活動を担う、福祉協力員の高齢化や不足も進んでいます。

解決のために取り組むこと

多くの人に陣山校区社協について知ってもらうため、広報活動の充実を図り、福祉協力員の若い人材の確保に取り組めます。

いろんな場所でいろいろな人が集える場を増やします

抱える問題点

サロンを開く場所やいろいろな人が集える場所が少なく、住民同士のつながる機会が減ってきています。

解決のために取り組むこと

子どもから高齢者、子育て世代、障害のある方など誰もが気軽に集まれる居場所づくりに取り組めます。